

# 1. アンケート方法・回答者数など

(1) 調査の対象 2018年度 本学在籍学生

(2) 調査の方法 WEBアンケートシステム（無記名）を利用し、学生個々が回答した。  
学生への案内は各教務補助、並びに目白キャンパス事務室  
を通して行なった。

(3) 実施期間 2018年12月3日（月）～2019年1月18日（金）

(4) 回答者の基本情報

2018年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化		目白C	我孫子C
学生数	1060人	101人	142人	125人	73人	274人	51人	148人	146人		247人	813人
回答者数	567人	48人	60人	79人	36人	139人	34人	90人	81人		129人	438人
回答率	53.49%	47.52%	42.25%	63.20%	49.32%	50.73%	66.67%	60.81%	55.48%		52.23%	53.87%

2017年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化	社会教育	目白C	我孫子C
学生数	1044人	82人	134人	114人	68人	289人	61人	160人	123人	13人	205人	839人
回答者数	390人	11人	79人	90人	47人	22人	33人	94人	12人	2人	23人	367人
回答率	37.36%	13.41%	58.96%	78.95%	69.12%	7.61%	54.10%	58.75%	9.76%	15.38%	11.22%	43.74%

(5) 回答にかかった時間

回答時間	人数	割合
10分未満	300人	57%
10～13分	84人	16%
13～15分	26人	5%
15～30分	60人	11%
30～60分	35人	7%
60分以上	25人	5%
	530人	100%

## IRセンターコメント

- ①2017年度のアンケートに比較し回答数が向上した。  
37.36% ⇒ 53.49%
- ②全体の回答傾向は、2017年度と同様の結果であったが、回答率が上がり、各学科概ね5割前後の回答となったことで、学科別に比較する事が可能となった。
- ③回答時間において、学生から若干の苦情があったが、7割以上が13分以下の時間で回答できている。

## 2. 修学時間の分析

6 1.あなたは1週間にどれくらいの時間を授業で出されたレポートや課題、授業の予習・復習のために使っていますか  
(レポート作成に1日1時間弱程度であれば1週間で「5時間以上7時間未満」となります)

	学生数	回答者数 回答率	ほとんど しない	1h未満	1h~3h 未満	3h~5h 未満	5h~7h 未満	7h~10h 未満	10h 以上
全体	1060人	567人 53.49%	65人 11.46%	85人 14.99%	184人 32.45%	121人 21.34%	69人 12.17%	26人 4.59%	17人 3.00%
国際英語	101人	48人 47.52%	6人 12.50%	9人 18.75%	17人 35.42%	7人 14.58%	7人 14.58%	1人 2.08%	1人 2.08%
史学	142人	60人 42.25%	5人 8.33%	6人 10.00%	17人 28.33%	20人 33.33%	7人 11.67%	1人 1.67%	4人 6.67%
心理	125人	79人 63.20%	7人 8.86%	12人 15.19%	26人 32.91%	14人 17.72%	11人 13.92%	5人 6.33%	4人 5.06%
日本文化	73人	36人 49.32%	0人 0.00%	7人 19.44%	11人 30.56%	6人 16.67%	8人 22.22%	2人 5.56%	2人 5.56%
幼児教育	274人	139人 50.73%	23人 16.55%	18人 12.95%	51人 36.69%	24人 17.27%	20人 14.39%	3人 2.16%	0人 0.00%
児童教育	51人	34人 66.67%	2人 5.88%	1人 2.94%	11人 32.35%	10人 29.41%	3人 8.82%	4人 11.76%	3人 8.82%
生活文化	148人	90人 60.81%	9人 10.00%	13人 14.44%	31人 34.44%	16人 17.78%	10人 11.11%	8人 8.89%	3人 3.33%
観光文化	146人	81人 55.48%	13人 16.05%	19人 23.46%	20人 24.69%	24人 29.63%	3人 3.70%	2人 2.47%	0人 0.00%

6 3.あなたは1週間にどれくらいの時間、授業に直接関係のない自主的な勉強(卒業論文、資格取得、就職・受験など)のための使っていますか

	学生数	回答者数 回答率	ほとんど しない	1h未満	1h~3h 未満	3h~5h 未満	5h~7h 未満	7h~10h 未満	10h 以上
全体	1060人	567人 53.49%	231人 40.74%	131人 23.10%	127人 22.40%	42人 7.41%	21人 3.70%	7人 1.23%	8人 1.41%
1年生	296人	167人 56.42%	82人 49.10%	45人 26.95%	29人 17.37%	8人 4.79%	2人 1.20%	1人 0.60%	0人 0.00%
2年生	282人	155人 54.96%	68人 43.87%	38人 24.52%	38人 24.52%	7人 4.52%	2人 1.29%	0人 0.00%	2人 1.29%
3年生	233人	112人 48.07%	41人 36.61%	23人 20.54%	31人 27.68%	11人 9.82%	3人 2.68%	2人 1.79%	1人 0.89%
4年生	249人	133人 53.41%	40人 30.08%	25人 18.80%	29人 21.80%	16人 12.03%	14人 10.53%	4人 3.01%	5人 3.76%

### IRセンターコメント

●修学時間に関しては、『授業に関わる勉強時間』と『それ以外の勉強時間』を分けて調査した。

#### 『授業に関わる勉強時間（設問6 1）』

- ①全体として、1週間に7時間以上の自主的な勉強をしているのは19.75%にとどまっている。
- ②学科別に見ると、「観光文化学科」は6.16%と他学科と比較して著しく低い
- ③昨年に引き続き、自主的な修学を促すアプローチが必要となる。

#### 『それ以外の勉強時間（設問6 3）』

- ①学年別に見ると、4年生が他学年に比べ17.26%と大きい。卒業論文の準備時間が反映されたものと考えられる。
- ②就職活動の準備に入る、3年生もこの時間を取って欲しいところであるが、5.36%と低く、より良い就職のため、就職委員会で具体策を検討する必要がある。

### 3. 満足度

#### 満足感

##### 7. 大学の勉強に満足している

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	566人	17人	94人	324人	131人
		53.40%	3.00%	16.61%	57.24%	23.14%

●大学の勉強に満足  
80.38%(2017年 79.28%)

##### 8. 川村学園女子大学での大学生活に満足している

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	32人	107人	282人	146人
		53.49%	5.64%	18.87%	49.74%	25.75%

●大学生活に満足  
75.49%(2017年 77.62%)

##### 9. 所属している学科に入って正解だったと思う

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	565人	16人	55人	219人	275人
		53.30%	2.83%	9.73%	38.76%	48.67%

●所属学科で正解  
87.43%(2017年 85.08%)

##### 12. 川村学園女子大学でできた人間関係はかけがえのないものだ

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	28人	64人	233人	242人
		53.49%	4.94%	11.29%	41.09%	42.68%

●人間関係かけがえのないもの  
83.77%(2017年 82.74%)

#### ブランド力

##### 10. 川村学園女子大学の学生であることを誇りに思う

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	59人	129人	285人	94人
		53.49%	10.41%	22.75%	50.26%	16.58%

●川村学園に誇り  
66.84%(2017年 64.37%)

##### 11. 友人、後輩、妹などに川村学園女子大学に入学することを薦めたい

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	564人	98人	150人	241人	75人
		53.21%	17.38%	26.60%	42.73%	13.30%

●友人、姉妹に勧めたい  
56.03%(2017年 53.70%)

#### IRセンターコメント

- ①満足感を調査した4設問においては、肯定的な回答が高い値をしめしている。
- ②特に『設問9 所属している学科に入って正解だった』が高い値になっていることは少人数制で学生のフォローを行なっている本学にとっては学科の教員及び、学科についている職員の対応が学生の満足感に繋がっていると考えられ、対応を継続すると同時により良くなるよにPDCAをまわしたい。
- ③反面、高い満足感に比例しない『ブランド力』を調査した2つの設問の値  
『設問10 川村学園女子大学の学生であることを誇りに思う』  
『設問11 友人、後輩、妹などに川村学園女子大学へ入学することを薦めたい』

満足感から次は学生が、「自分の力」が向上したと認識できる、経験が出来るような具体的なかつ継続的な施策を地道に進める必要がある。

## 4. 学生の意欲

### 『チャレンジ・積極性』

#### 18. 機会があれば留学をしてみたい

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	187人	105人	132人	143人
		53.49%	32.98%	18.52%	23.28%	25.22%

●留学してみたい

48.50%(2017年 42.36%)

#### 19. 大学の授業や学生会等の課外活動以外で取り組んでいる活動がある

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	288人	67人	58人	154人
		53.49%	50.79%	11.82%	10.23%	27.16%

●自主的に取り組んでいる活動

37.39%(2017年 45.51%)

#### 20. 機会があれば大学を盛り上げるイベントなどを企画・実行してみたい

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	197人	153人	155人	62人
		53.49%	34.74%	26.98%	27.34%	10.93%

●学内イベント参加したい

38.27%(2017年 32.71%)

### 『キャリア意識』

#### 21. 資格に結びつく勉強をしたい

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	566人	6人	25人	179人	356人
		53.40%	1.06%	4.42%	31.63%	62.90%

●資格に結びつく勉強をしたい

94.52%(2017年 92.39%)

#### 22. 将来について考えている

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	565人	9人	68人	206人	282人
		53.30%	1.59%	12.04%	36.46%	49.91%

●将来について考えている

86.37%(2017年 80.20%)

#### 23. 卒業後の進路についていろいろ知りたい

	学生数	回答者数	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
		回答率				
全体	1060人	567人	20人	27人	201人	319人
		53.49%	3.53%	4.76%	35.45%	56.26%

●進路について考えている

91.70%(2017年 88.10%)

### IRセンターコメント

- ①『チャレンジ・積極性』の3つの設問において、肯定的な回答がどれも低い値となっている。  
授業の満足度は高い事を考えると、『学び』を『実践』してみたいという意欲を持てる仕掛けの検討が必要と考えられる。
- ②反面『キャリア意識』への3つの設問については、どれもとても高い値をしめしている。キャリアプランニング（授業科目）の教員や、就職支援室が中心となり、さまざまな施策を実施しているが、参加者は少なく、『意識はあるが行動できない』学生が多いと考えられ、対策を検討する必要がある。
- ③「成長実感」を調査する設問においても、「リーダーシップ」や「社会貢献活動」への参加の設問において肯定的な回答が低くなる。  
積極的に社会参加する人材育成へのアプローチが必要となる。

## 5. 成長実感

### ●成長実感を調査した設問は20問

肯定的な回答は概ね70%前後だったが、高い値を示した設問が4つ、やや低い値を示したの5つ、低い値を示したのが4つあった。

### 高い値の設問

- 75.川村で学ぶことで**コンピュータを使って文章や資料を作る力**が身についた(81.66%)
- 76.川村で学ぶことで**専門分野の知識や技術**が身についた(85.54%)
- 77.川村で学ぶことで**幅広い教養や常識**が身についた(77.95%)
- 78.川村で学ぶことで**人と協力しながらものごとを進める力**が身についた(76.54%)

### やや低い値の設問

- 69.川村で学ぶことで**論理的に考える力**が身についた (60.14%)
- 70.川村で学ぶことで**社会のために役立とう**という気持ちが身についた (65.26%)
- 71.川村で学ぶことで**新しいことを創造する力**が身についた (58.20%)
- 72.川村で学ぶことで**社会に適応してうまくやっていく力**が身についた (66.49%)
- 73.川村で学ぶことで**「企画立案」や「計画作成」**を行う力が身についた (55.20%)

### 低い値の設問

- 80.川村で学ぶことで**外国語を使う力**が身についた (39.68%)
- 81.川村で学ぶことで**国際的視野**が身についた (38.45%)
- 82.川村で学ぶことで**グループの「先頭に立つ力」や「チームをまとめる力」**が身についた (40.56%)
- 83.川村で学ぶことで**ボランティア・NPOなどの社会的活動をする姿勢**が身についた (37.57%)

### IRセンターコメント

- ①高い値を示した4つの設問は、どれの社会に出るためには重要な項目であり、学生がその成長を実感してくれていることが確認できる。
- ②反面、本学のアドミッションポリシーと突合させると、低かった9設問中、6設問があてはまる事がわかる。アドミッションポリシーに基づき、授業や研修を提供しているが、学生の成長実感に結びついていない事がわかる。より実感できる内容へ改善を検討する必要がある。

### アドミッションポリシーとの突合

- 1.「**自覚ある女性**」の育成という川村学園創立の精神を理解し、「**感謝の心**」を育みつつ「**明確な目標**」をもって「**自分らしく生きる**」女性になろうと思う人

- 70.川村で学ぶことで**社会のために役立とう**という気持ちが身についた (65.26%)
- 83.川村で学ぶことで**ボランティア・NPOなどの社会的活動をする姿勢**が身についた (37.57%)

- 2.本学の特徴である**少人数の講義やゼミ**を通して、**コミュニケーション力、問題発見・解決能力**といった人間力を高め、**自分だけでなく他者をも「育む」能力**を身につけたい人

- 69.川村で学ぶことで**論理的に考える力**が身についた (60.14%)
- 73.川村で学ぶことで**「企画立案」や「計画作成」**を行う力が身についた (55.20%)
- 82.川村で学ぶことで**グループの「先頭に立つ力」や「チームをまとめる力」**が身についた (40.56%)

- 3. **教養教育**を通して**社会人としての素養**を身につけるとともに、**専門教育**によって**実社会**で生き抜くための**実践的なスキルと創造的思考力**を獲得し**様々な分野で活躍**したい人

- 71.川村で学ぶことで**新しいことを創造する力**が身についた (58.20%)